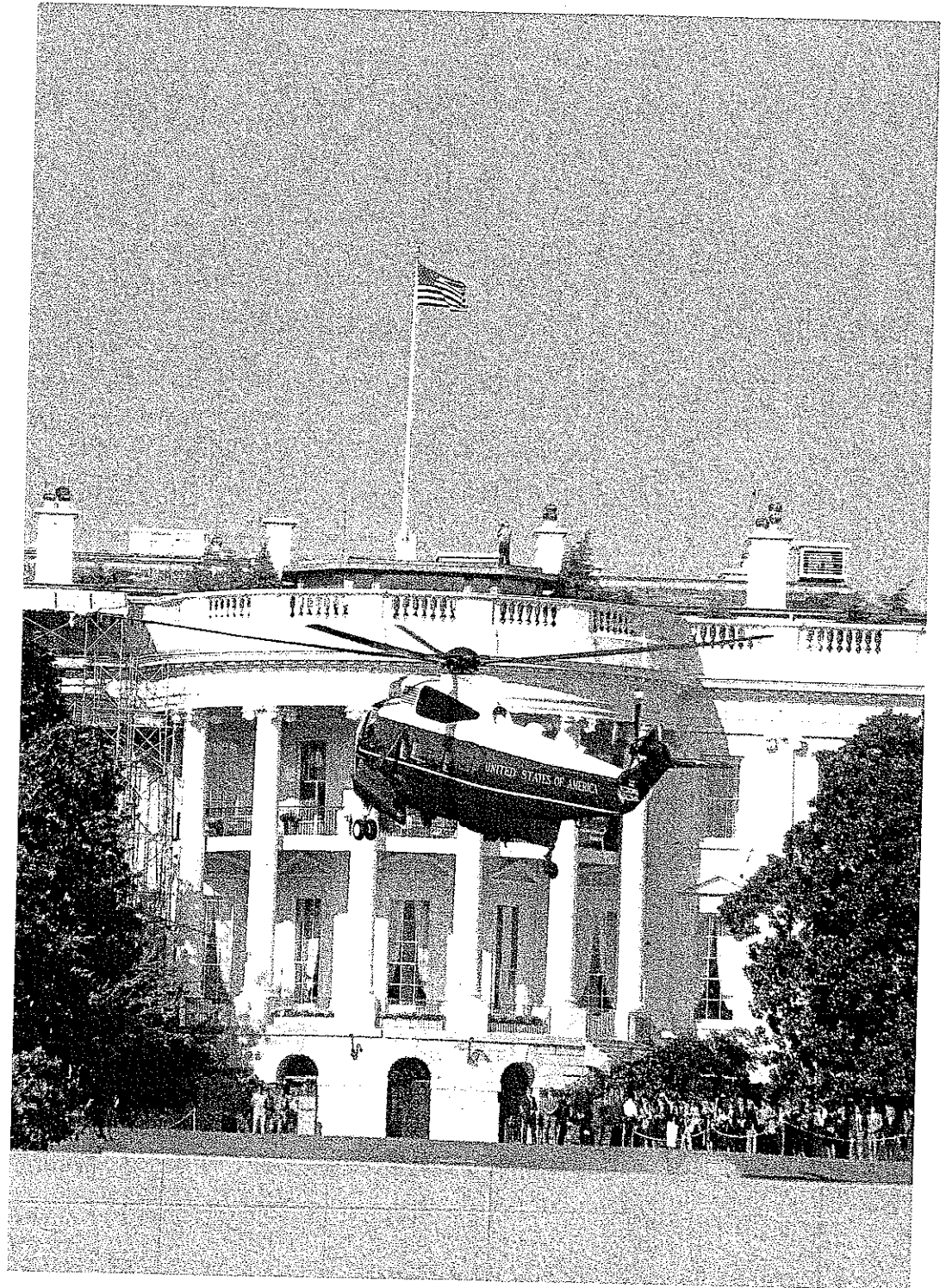


DECIDE

MAGAZINE FOR DECISIONMAKERS

BUSINESS WORLD & CHINESE SURVEY

【決断】



FROM NEW YORK

現地報告

「胡錦濤訪米」が映し出す

「米中・新時代」

読売新聞主筆が問う

「戦争責任」

中国4000年の歴史を彩る「傑女」列伝

則天武后「壮絶・酷薄」天下盗り

4

April 2006

■ イタリアワイン紀行 ■

ヴィスコンティの名作「山猫」の舞台に花開いた
シチリアワインの傑作
「ドンナフガータ=逃げた女」



「ドンナフガータ」の代表作「Tancredi」。

人種・異文化の交差点と

シチリア — イタリア半島の南端に浮かぶ地中海最大の島。島とはいいながら、総面積2万5700平方メートル、人口は約500万人に達する。

多くの人が、シチリアという地名から思い起こすのは、マリオ・プーツォ原作、フランシス・コッポラ監督の名作「ゴッドファーザー」第1作で、アル・パチーノ演じる若き主人公が父「ドン」の故郷であるこの島を訪ねるシーン。島で、将来のドンは、結婚式直後に、抗争で新妻を失うという壮絶な洗礼を受ける。つまり、マフィアの故郷、というイメージである。あのアル・カポネもシチリアの出身、と聞いた。

しかし、そんな事実もこの島のわずかな一端の表象でしかない。この島の中核都市の一つであるパレルモの空港に降り立つと、誰もが燦々と降り注ぐ南国の太陽の歓迎に感動を覚える。言うまでもなく、島を取り囲む地中海はどこまでも真っ青で、海を渡る風はやさしい。

峻険な山などはなく、島全体に海拔400メートルから500メートルのなだらかな丘陵が連なり、一年中、熱帯の花々が咲き乱れ、植物が青々と茂る。



「ドンナフガータ」の傑作「SEDARA」。

DONNAFUGATA

そして、至るところで、古代ギリシアの神殿や劇場など、異文化の香りが漂う建築物を目にすることができる。地中海の要衝であるこの島では、古代から、フェニキア、ギリシア、古代ローマ、ビザンチン、アラブ、サラセン、フランス、スペインなど多くの民族と文化が交錯し、独特の文化を紡ぎ

上げてきたのである。

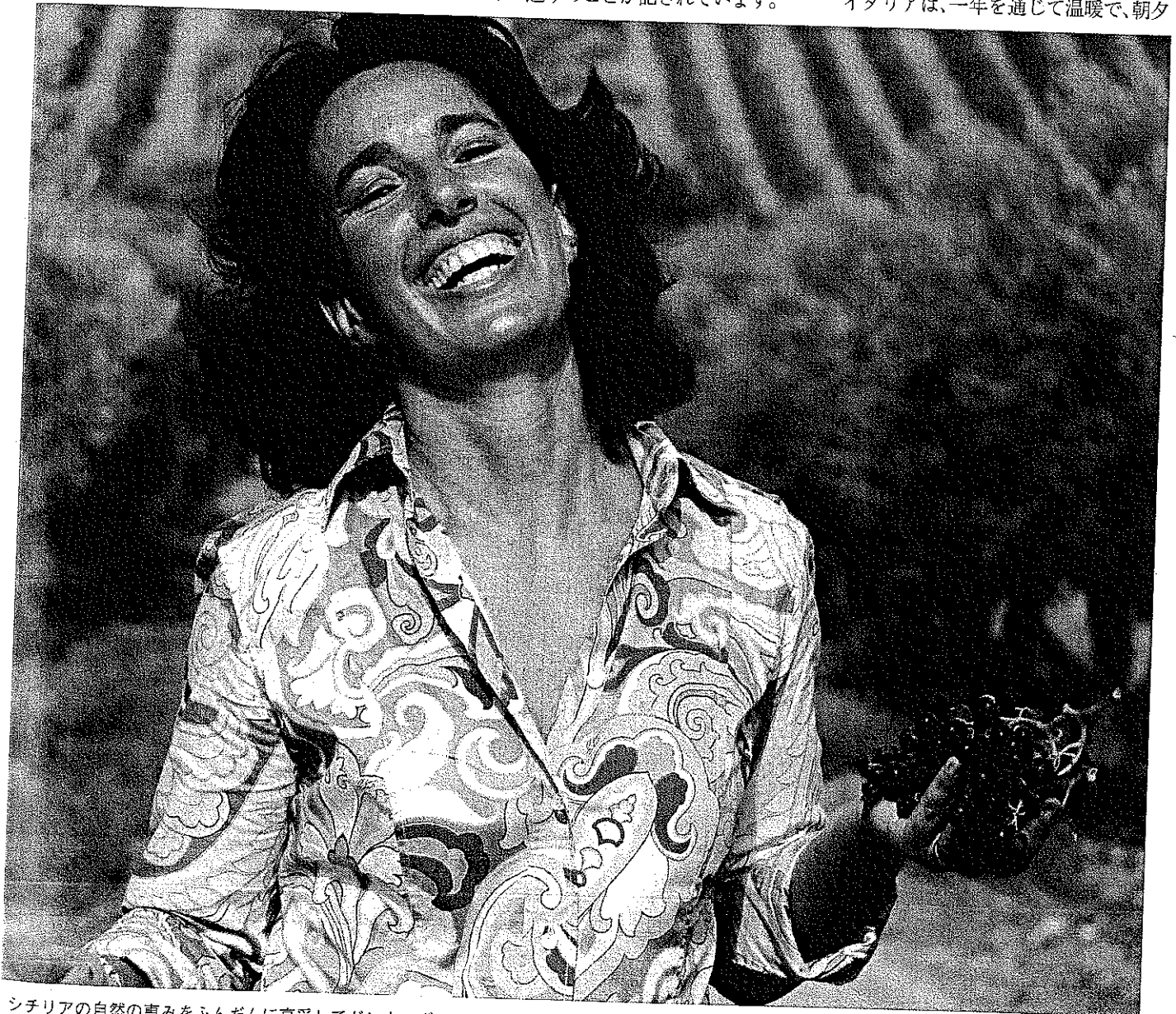
そんな豊かな歴史と伝統をふんだんに享受してシチリアのワイン造りの歴史は育まれてきた。

「この島のワイン造りはイタリアでも最も古いと言われ、紀元前7世紀の絵画や文献にもワイン造りのことが記されています。

ブドウの種類も豊富で、シチリアのワインの生産量はイタリアでも1、2を争う」と、林茂さんは言うのである。

恵まれているのは、歴史と伝統だけではない。特筆すべきは、何と言っても、気候、である。

イタリアは、一年を通じて温暖で、朝夕



シチリアの自然の恵みをふんだんに享受してドンナフガータはラロー家の手で世に出た。写真は当主ラロー氏の長女ジョゼ・ラロー(Josè Rallo)さん。
Photographer / Anna Pakula

DONNNAFUGATA

は涼しく、日中は灼熱の太陽が照りつける地中海性気候地域に属する。地中海性気候域の中でも、北緯34度から43度に位置する地域は「サンベルト=太陽地帯」と呼ばれる。

「サンベルト」の真下に

このサンベルトこそワイン造りに最も有利な条件を備えた土地である。大西洋岸のポルトガルとスペインを横切り、サルデーニャ島の南部、プーリア州、シチリアを通過してギリシアへと続く。このベルトが、ポルト、ヘレス、マラガ、ポサの「マルバシア」、オリスターナの「ヴェルナッチャ」、パンテッレリア、シラクサの「モスカート」、リパリの「マルバシア」、サモスの「モスカート」、キプロスの「コマンドリア」、そして、シチリアの「マルサラ」など卓越した世界的ワインを生んだ。

優良なワインブドウの生産には長い日

照時間と適度に寒冷な気候が不可欠、とされるが、朝夕と日中の温度差の大きい地中海性気候、サンベルトの恵みを受けるシチリアはワイン造りに最適の地、と言っている。

本稿の主役である「ドンナフガータ」は、はじめシチリアのワイナリーと日本のワイン愛好家・消費者を結ぶ架け橋の役割を担っているクリオ・インターナショナル社長の武藤尚久さんはこう話す。

「シチリアは大変に気候に恵まれた土地で、日照時間の長さでは世界有数です。朝夕と日中の温度差も大きくて、土壌も素晴らしい。良質なワインブドウを生産するためのあらゆる条件が整っているのです。そんな自然の恵みをたっぷり吸収して育つシチリアのブドウは収穫する前の段階で、糖度がすでに12パーセントもあります。

これは、シチリアのブドウだけです。たとえば、ドイツあたりのブドウは糖度が6パーセント程度しかない。それに化学的加

工を加えて糖度を12~13パーセントにまで高めるのですが、シチリアのブドウはその必要がありません。つまり、シチリアのワインは世界でも稀に見るナチュラルなワインなのです。

日本では、北のピエモンテ州やトスカーナのワインの方がよく知られてきましたが、シチリアのワインはそんなワインとも十分に闘える実力を持っています」

そんなシチリアワインの傑作を作り続けている名門ワイナリーの一つが、「ドンナフガータ」である。

ヴィスコンティ「山猫」の舞台で

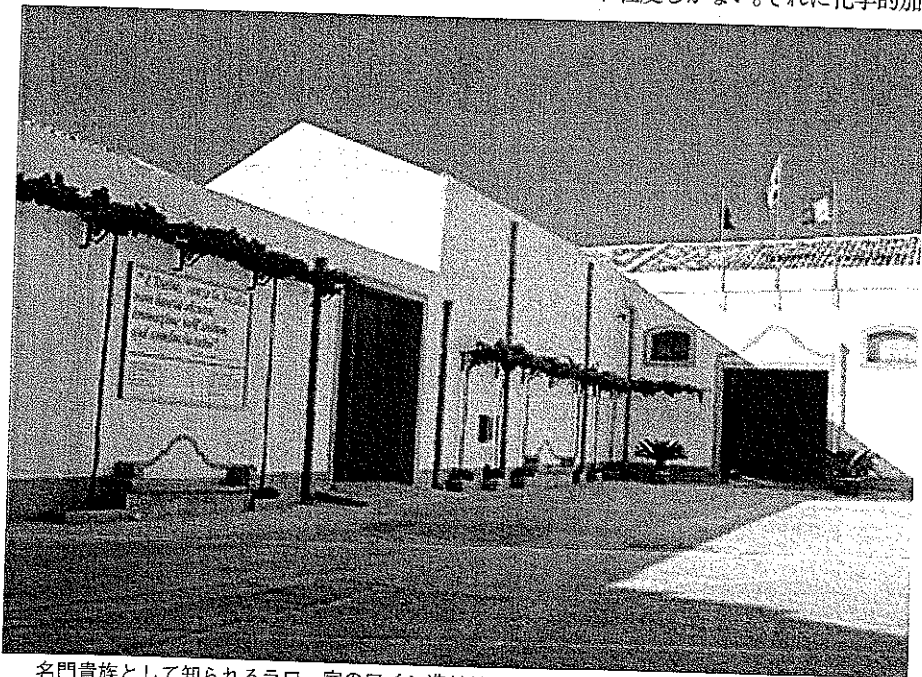
よほどのイタリアワイン通であればともかく、一般の消費者にとって馴染み深い名前ではない。しかし、イタリア映画のファンなら、うーん、聞いたことがある名前だね、ということになるのかも知れない。

ルキノ・ヴィスコンティ監督の名作「山猫」。ハプスブルク家からフランス・ブルボン王朝フェルディナンド4世に嫁いだマリア・カロリーナ王女はフランス革命の嵐の中をイタリア・ナポリ王国に逃れ、さらに、19世紀イタリア統一の英雄であったガリバルディ率いる義勇軍に追われてシチリア島に落ちのびた。

安住の地はシチリア島北部ペリーチェの中心部に広がるかつての領主サリーナ王所有の土地であった。その中心を成すサンタ・マルゲリータ宮殿を舞台に「山猫」のドラマは展開する。

主役、シチリア名門貴族の当主を演じたパート・ランカスターの台詞、「変わらずに生き残るためには、変わらなければならない」という一言は、今回、民主党党首の座についた小沢一郎氏がたびたび引用する言葉としてもよく知られるようになった。

映画「山猫」がもう一つ、世界中に広めたのが、ドンナフガータという地名である。



名門貴族として知られるラロー家のワイン造りはここシチリアの地で1851年から始まった。

Donnafugata to Marsala: the family's ancient winery founded in 1851.

Photographer / Matteo Linares

DONNAFUGATA

イタリア語で「ドンナ」とは「貴婦人」、「フガータ」は「逃亡」を意味する。したがって、「ドンナフガータ」とは「逃げた女」「逃げてきた女」という意味になる。

「逃げてきた貴婦人」とはマリア・カロリーナ。ハブスブルク家からフランスへ、フランスからスペインへ、ナポリへと逃れ続けた彼女がシチリア島でやっと得た安住の地をイタリアの人たちは「ドンナフガータ」と呼ぶようになったのである。

シチリアの名門貴族ラロー家は150年前、19世紀後半に、ブドウ栽培にこれ以上の土地はない、と称されるシチリア島南西部、コンテッサ・エンテリーナに140ヘクタールもの広大な畑を確保し、ワイン造りを始めた。

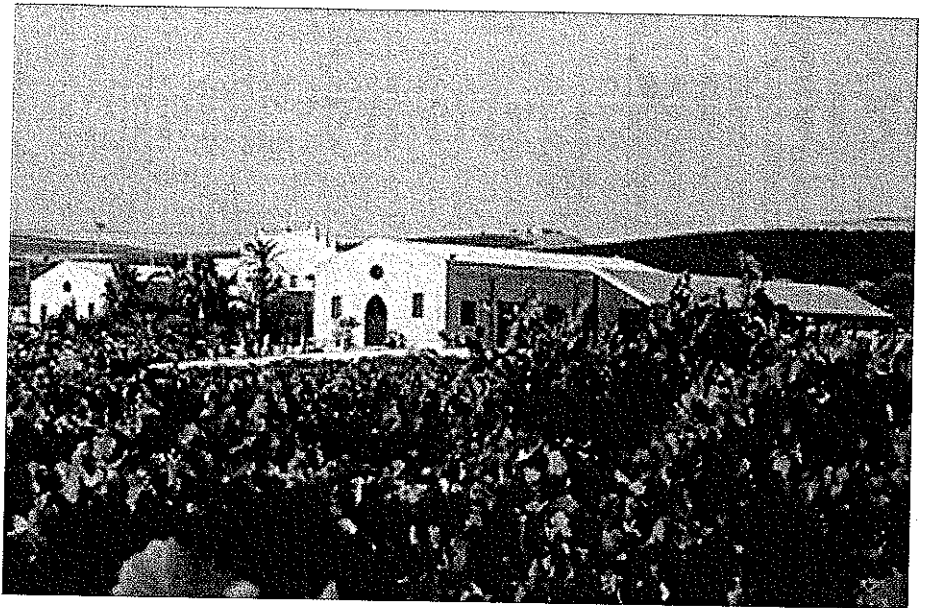
アルカリ性の粘土質、カルシウム量は10~30%、リン、カリウム、鉄分、亜鉛、マンガンなど土中のミネラルは豊富。冬は雨が少なく温暖、夏は暑く乾燥している上に昼夜の温度差が大きく、年間の降水量は550ミリ、という恵まれた自然条件の中でラロー一族は良質なワインを造り続けてきたのである。

「革命」を起こしたのはラロー家4代目のジャコモ・ラローと、スペインの名門貴族から嫁いできたその妻ガブリエラだった。

夫妻は、「この土地にはもっと輝かしい未来があるはずだ。より上質なワインを造るために常に変化に前向きでなければならぬ」と、「山猫」のパート・ランカスターを彷彿とさせるような決意を二人でかため、新しいワイン造りに取り組んだ。

辛苦の果てに完成した新しいワインに夫妻がつけた名前は、「ドンナフガータ」。シチリアの申し子とも言うべきワインに育って欲しい、という思いを込めた。1983年のことである。

エチケット、つまりラベルには「逃げてきた貴婦人」マリア・カロリーナ王女のデザイン画が描かれ、全てのワインに映画



シチリアを代表するワイナード、コンテッサ・エンテリーナ。

The green waves of the vines of Donnafugata at Contessa Entellina.

The wonder of a land as old as man.

Photographer / Pucci Scafidi

「山猫」ゆかりの名前がつけられた。

たとえば「Sedara セダラ」はクラウディア・カルディナーレ演じる魅力的な女性アンジェリカの苗字であり、「Tancredi タンクレディ」はアラン・ドロンの扮する野心満々の革命家の名前を取った。

名門貴族・ラロー家の手で

マルサラに代表されるシチリアワインはクオリティ、生産量ともにイタリア1、2の実力を持ちながら、マーケティングなどの営業力に欠ける、という側面もあったために、長く、自らのブランドを封印したまま樽でイタリアの有力消費地に送られる、という悲哀を甘受してきた。

ドンナフガータはその壁をも打ち破ったのである。

名作映画「山猫」が役割の一端を担ったことも間違いない。ニーノ・ロータがヴィスコンティに贈った名曲「ドンナフガータ

への旅」を聴きながら「ドンナフガータ」のグラスを傾ける。イタリアワイン・ファンにはたまらない一時である。

ワイナリーはいま、ジャコモ・ガブリエラ夫妻からジョゼとアントニオの姉弟、そして孫のガブリエラとフェルディナンドに引き継がれようとしている。

林茂さんは、「ドンナフガータはシチリアワインの世界に新しい風を吹き込みました。DOCGのワインはありませんが、世界のどんな有名なワインと比べても品質は見劣りしません」と、高く評価する。

そして、「白は白なりに爽やかで、赤は力強く、しっかりしたワインです。煮込み料理やジビエの料理には最適です」と。

協力

林茂・SOLOITALIA代表

International Exhibition Management s.r.l.

株式会社 スペースメディアジャパン

有限会社 クリオ・インターナショナル